

# 大阪府の取り組み

## ～大阪スマートシティ戦略部が目指すこと～

大阪府 スマートシティ戦略部 スマートシティ戦略総務課  
課長 大河内 隆生

- [ 1 ] スマートシティ戦略部とは？  
～大阪はスマートシティをめざす！～
- [ 2 ] スマートシティ戦略 Ver1
- [ 3 ] コロナ対策 ～SWATチーム～
- [ 4 ] ポストコロナ そして万博へ
- [ 5 ] 公民協同  
～大阪スマートシティパートナーズフォーラム～



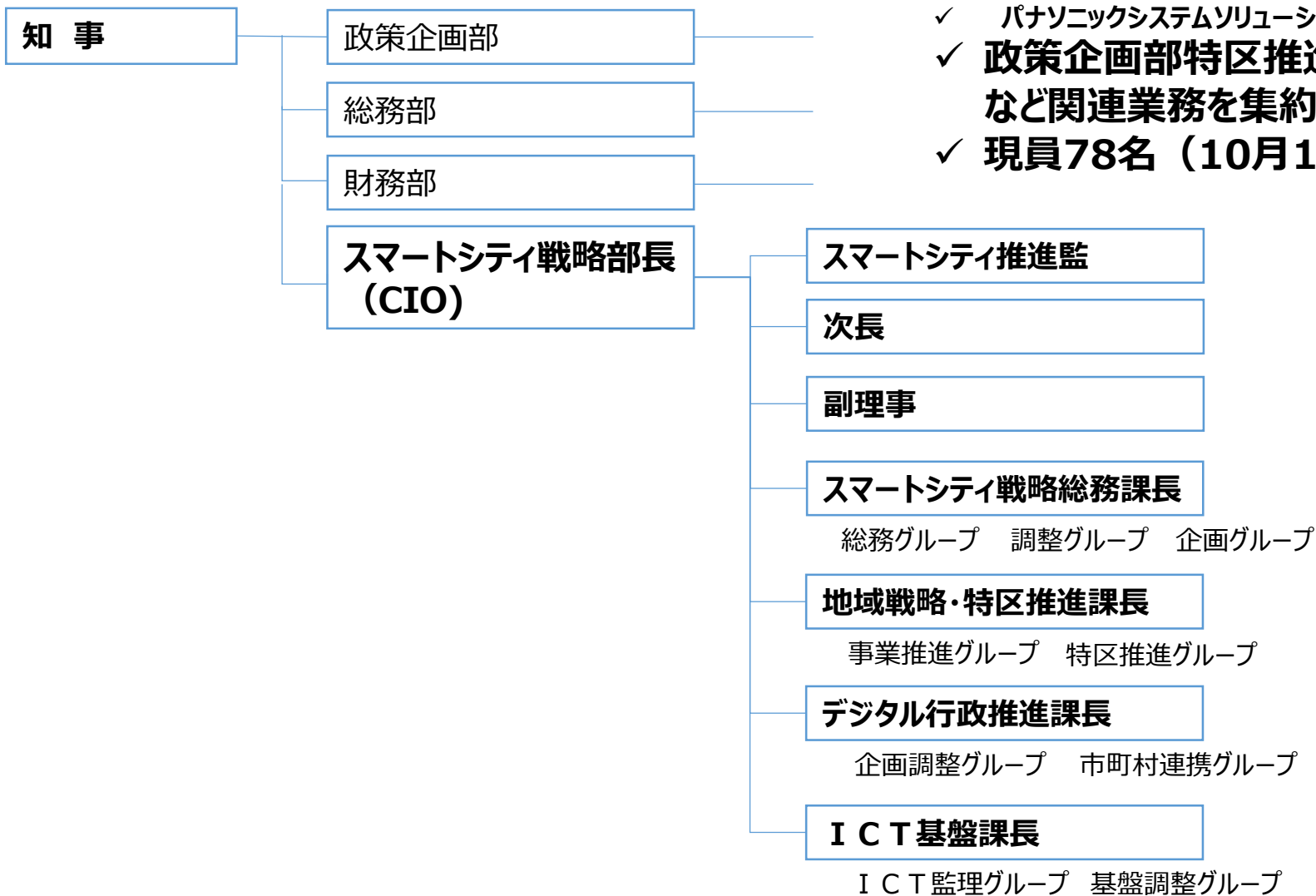
平成31年4月8日  
吉村知事就任記者会見

## 大阪はスマートシティをめざす！

- 大阪の行政サービスをICTを使ってよくする。そして例えば高齢化が進むベッドタウンで自動運転のバスを走らせるとか、万博を目指して府民の皆さんが利便性を実感できるものを広げていきたい。
- 最先端の技術を使って府民の皆さんの生活がよくなる、これは万博につながるんだというものを民間と協力しながら進めていく。
- そのための実行組織として、スマートシティ戦略室というのを府庁の中につくっていききたい。そこにはICTリテラシーが高い職員を集めて組織再編する。

# 1. スマートシティ戦略部について

## 2020年度のスマートシティ戦略の推進体制



- ✓ 部長を民間から公募
- ✓ 民間交流員を登用 (5人)
  - ✓ →NTT・NTTドコモ・ソフトバンク・NEC
  - ✓ パナソニックシステムソリューションズジャパン
- ✓ 政策企画部特区推進課の移管など関連業務を集約
- ✓ 現員78名 (10月1日現在)

プロジェクトごとにチームを編成し、柔軟に対応

## 2. スマートシティ戦略 ver 1

## 大阪が抱える社会課題への対応

- ・少子高齢化や生産年齢人口の減少
  - ・都市のインフラやニュータウンの老朽化 など
- 高齢者の足の確保など、住民の利便性の向上、都市課題の解決が不可欠

## 課題を解決するプレイヤーの存在

- ・企業（大手、中小）の集積＋ベンチャー・外資系企業の参入環境整備
- ・大学・研究機関等のアカデミア ・市民・団体等のシビックテック

## 世界の先進事例に学び、住民のQoL向上 グローバルな都市間競争に対応

- ・世界の都市・地域で先端技術活用成果 → 先進事例、内外の技術を「ええとこどり」

### 住民QoLの向上

- 住民が実感できるかたちで、「生活の質（QoL）の向上」をめざす
- ✓ 技術ありきではなく、課題解決ありきのアプローチにより、住民が実感できるかたちで生活を変える。

### 公民連携 (マッチング)

- 公民連携による「民間との協同」が大前提
- ✓ 自治体だけでは解決しえない社会課題について、企業が持つ先進テクノロジーやアイデアをマッチングし、新たな解決策を見出す。

### 社会実装

- 「技術実験」に留まらず、「社会実装」まで追求する
- ✓ 何のためにやるのか、目的意識を明確化し、社会実装・産業化に向けた取組みを重視。その際、万博に向けた官民の動きを最大限活用。

### 大阪の課題（主な例）

#### 交通・移動

##### 【都心のモビリティ】

- ・ 慢性的な渋滞
- ・ 運転手などの人手不足

##### 【郊外のモビリティ】

- ・ 公共交通の撤退・減少
- ・ ラストワンマイル への対応

#### 防災

- ・ 南海トラフ地震の可能性
- ・ 都市型自然災害の増加
- ・ 帰宅難民／来街者対応

#### 健康福祉

- ・ 健康寿命の延伸
- ・ 医療機関の長い待ち時間
- ・ 高齢者等介護の増加と人材不足
- ・ 障がい者への対応

#### 子育て

- ・ 待機児童
- ・ 保育分野の人材不足
- ・ 子育てと仕事の両立
- ・ 児童虐待の対応

#### 教育

- ・ 学力の向上
- ・ IT人材育成の必要性
- ・ 教員などの人手不足

#### 観光集客

- ・ インバウンドの急増
- ・ 観光拠点のさらなる充実
- ・ Wi-Fiやキャッシュレス対応

### 先端技術

#### 【アプリケーション技術】

- ✓ 人とICT／モノとICTの繋がり



#### 【通信技術】

- ✓ インターネット、Wi-Fi、LPWA、5G



#### 【情報技術】

- ✓ AIデータ分析  
マイニング  
セキュリティ



#### 【センシング技術】

- ✓ 位置、温度、速度などのセンサー



### <プレイヤー>

#### ◆在阪企業

- 通信事業者
- 交通事業者
- ものづくり企業 等

#### ◆ベンチャー・外資

- IT・ネット 等

#### ◆シビックテック

- Code for Osaka 等

#### ◆大学・研究機関

- 大阪大学
- 府立大学
- 市立大学
- 大阪産業技術研究所 等



### 大阪・関西万博に向けた取組み

2025年大阪・関西万博に向け、大胆な規制緩和等を活用することにより、「未来社会の実験場」にふさわしい、世界に類のない最先端技術を実証・実装。



### 大阪府域全体の取組み

住民生活の質(QoL)の向上や都市機能の強化を図っていくため、世界の先進都市等の事例も参考にしながら先端技術を積極的に活用し、スマートシティの基盤を確立。



大阪モデルのスマートシティの実現

- ・まずは住民が利便性を実感できる行政サービスなど技術的にすぐできることから実践。
- ・さらに、都市課題の解決に資するテクノロジーの実証実験を通じて先行事例を蓄積し、**実証から実装への進化、府内での横展開へと取組みを発展。**

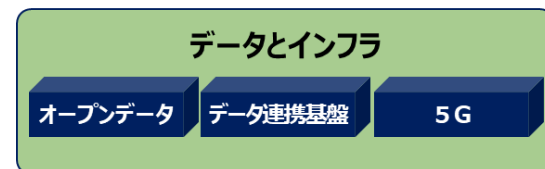
### 住民のQoL向上の具体化に向けた取組み

デジタルガバメント	市町村支援、手続きのオンライン化、3つのレスの推進（はんこレス・ペーパーレス・キャッシュレス）
モビリティ	AIオンデマンド交通、非公道自動運転、MaaS
データヘルス	データの活用による住民の健康づくり
楽しいまちづくり	AR・VRなどのテクノロジーを活用した文化資源やまちの演出
まちのキャッシュレス化	タクシーや中小事業者の取組み促進
ICTを活用したまちづくり	都心（夢洲、森之宮等）、郊外（泉北NT等）、中山間地り



### スマートシティを支えるデータとインフラ

オープンデータ	行政データ・統計データの利用の利便性向上
データプラットフォーム	市町村のデータ連携支援のプラットフォーム構築
5G	基地局拡充のための自治体アセット開放

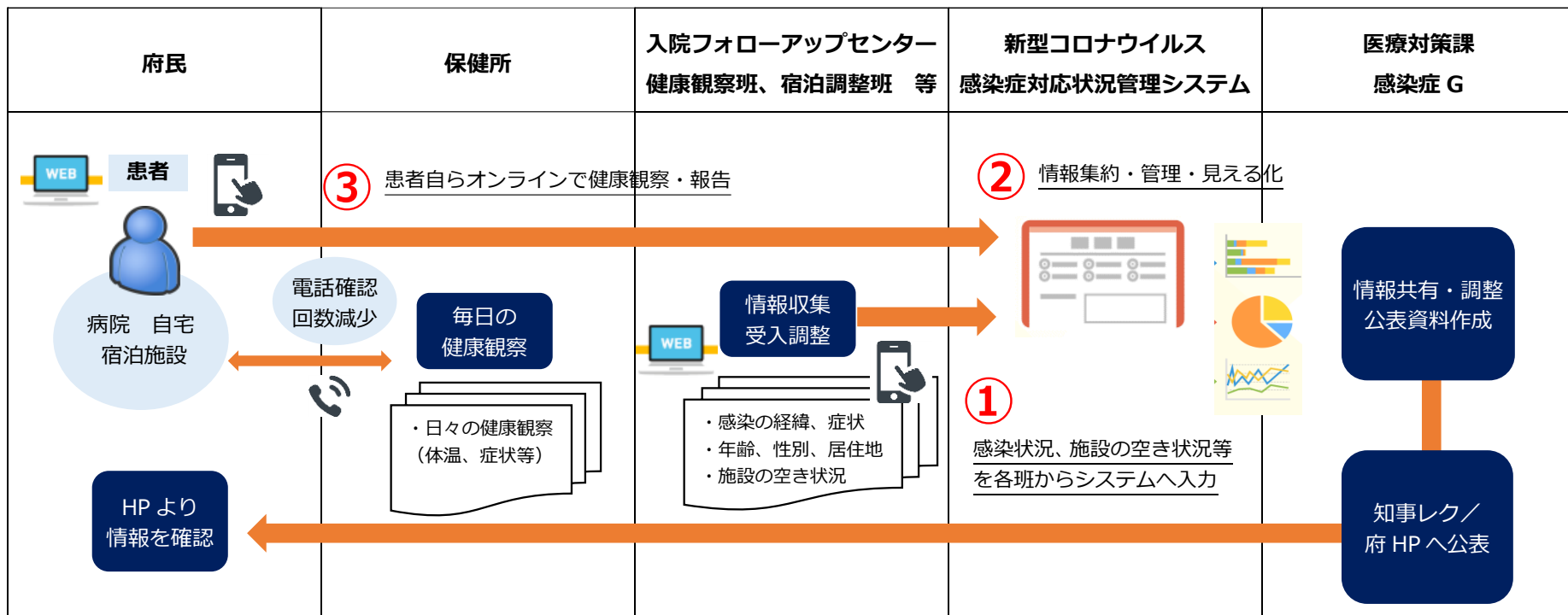


## **3. コロナ対策 ～SWATチーム～**

# 3. コロナ対策 ～SWATチーム～

## 新型コロナウイルス対応状況管理システム

保健所がそれぞれExcel等に入力していた各種情報を、Webシステムへ一元管理。システムへリアルタイムに入力された情報から、感染状況や病院等施設の空き状況等を集計・グラフ化して、最新情報を速やかに共有し、患者受入先調整等の業務を効率化する。



# 3. コロナ対策 ～SWATチーム～

## 大阪コロナ追跡システム

自粛・休業要請を解除した後、イベントや店舗・集客施設等において感染者が発生した場合に備え、QRコードを活用して、大阪府がイベント参加者や店舗等利用者の連絡先を把握し、感染者発生時に迅速に連絡を行うことによって、感染拡大を防ぐためのシステム。

### 《店舗等利用者・イベント参加者による登録》



### 《感染者判明時の店舗等利用者・イベント参加者への連絡》

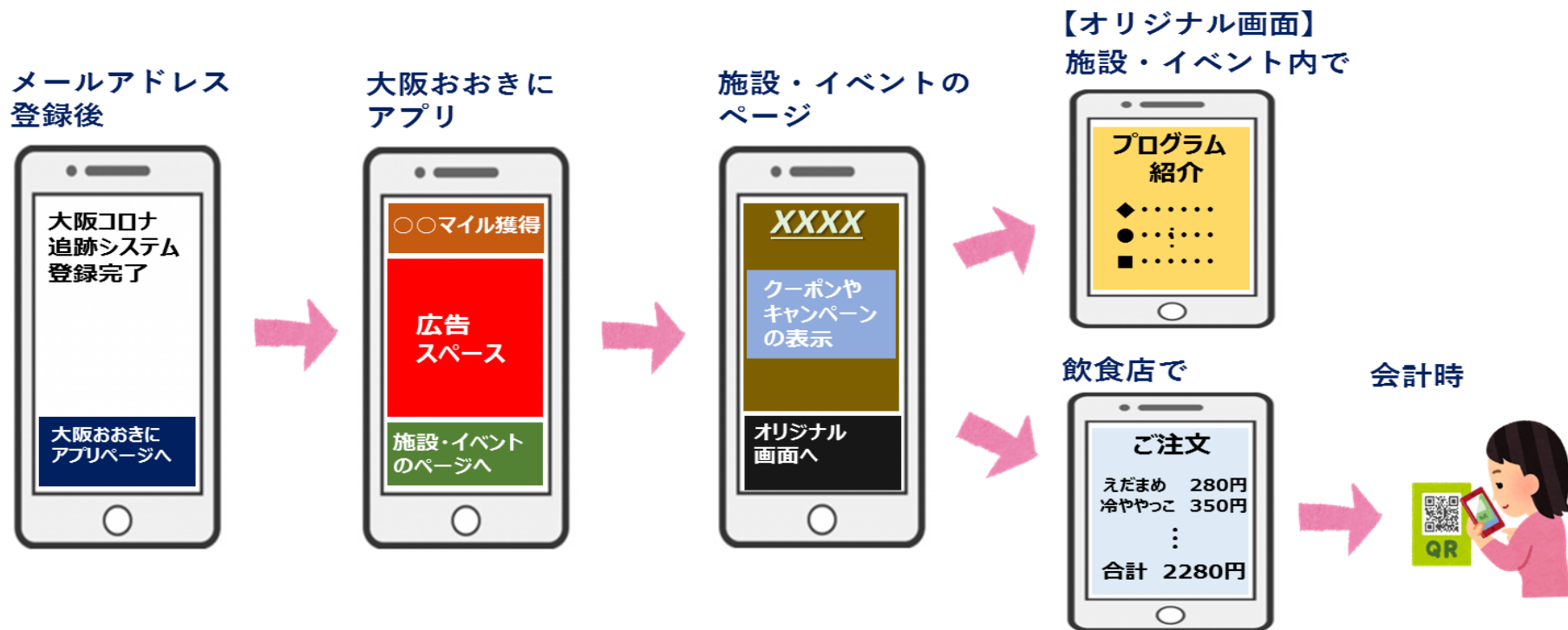


- 氏名・住所等の個人情報収集せず、メールアドレスのみ扱う
- QRコードを読んでメールアドレスを登録するだけのシンプルな仕組み
- 大阪府のリリース後、東京・神奈川・京都でも同様のシステムを導入

# 3. コロナ対策 ～SWATチーム～

## 大阪おおきにアプリ

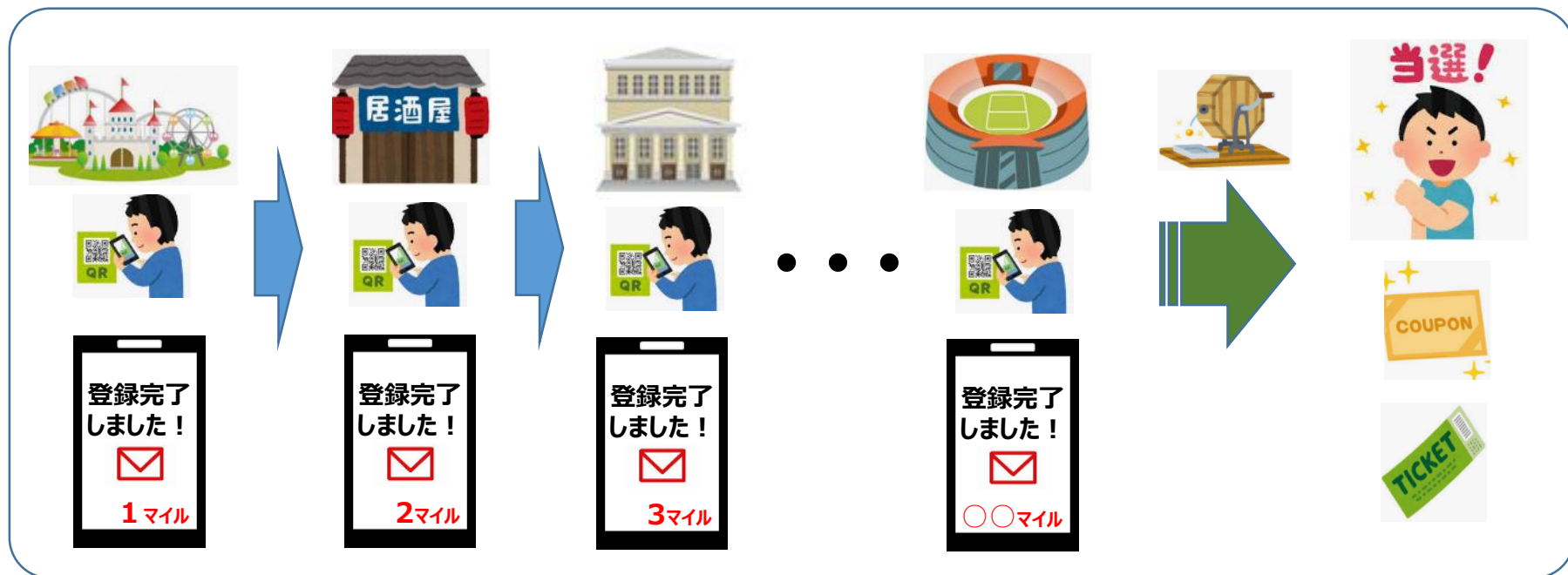
府民が飲食店で大阪コロナ追跡システムにメールアドレスを登録した際に大阪府から自動返信される一律の登録確認メールに、それぞれの飲食店が**オリジナル画面を追加**できるアプリ。



# 3. コロナ対策 ～SWATチーム～

## 大阪マイル

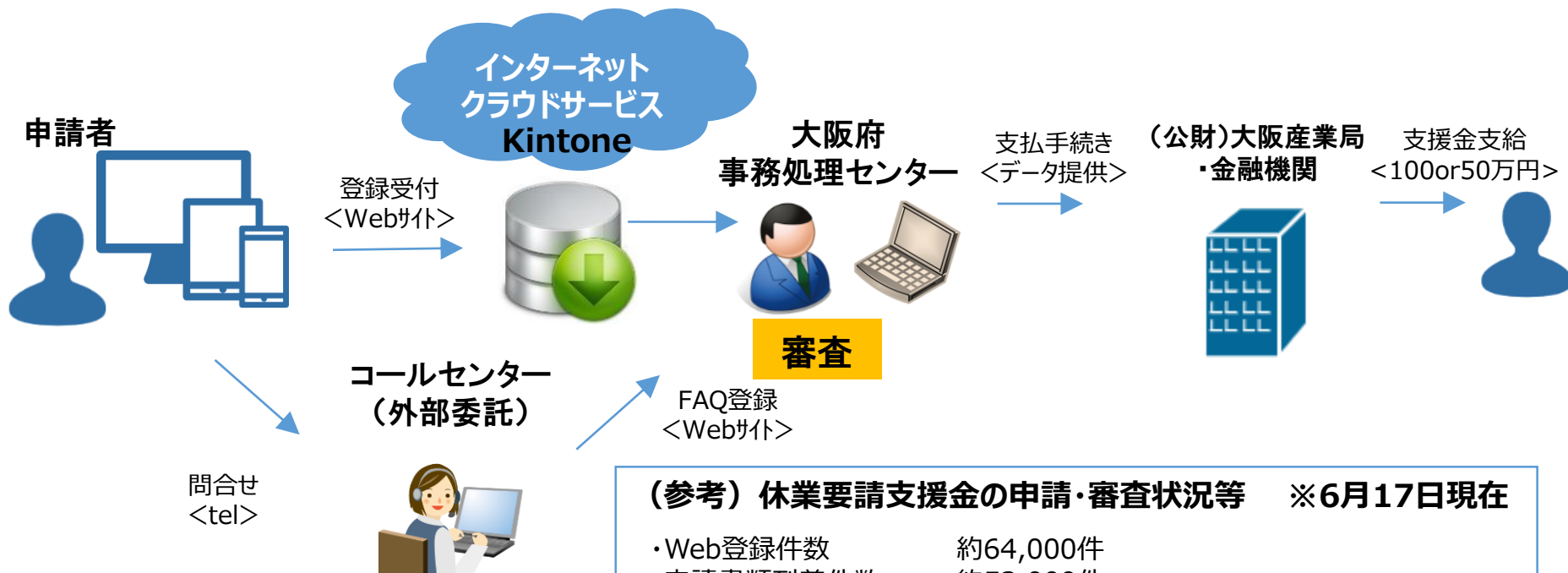
- ◆ 利用者が「大阪コロナ追跡システム」のQRコードを読み込んだ際、大阪マイルというポイントを付与。
- ◆ 期間内に一定数のマイル（10ポイントで1口）を貯めた利用者を対象に、定期的（原則、毎月末締切）に抽選を行い、当選者には特典を送付。  
※但し、同一店舗の登録は1日1回のみ



# 3. コロナ対策 ～SWATチーム～

## 休業要請支援金の事務処理システム（概ね5日間でシステム構築！）

- 府からの休業要請に応じた中小企業や個人事業主に対して市町村と共同で支援金を支給
- オンラインによる申請手続き～申請データを一元管理できるデータベースをアジャイル方式で開発  
（スマートシティ戦略部が、商工労働部を支援し、構築から運用までをサポート。）



### （参考）休業要請支援金の申請・審査状況等 ※6月17日現在

・Web登録件数	約64,000件
・申請書類到着件数	約53,000件
・支給決定者数	約31,500件【支給決定率 約60%】
・支給決定額	約189.4億円【総額400億円】



# 3. コロナ対策 ～SWATチーム～

(3)暮らしを支えるセーフティ  
ネットのさらなる充実

## 府民への相談体制の強化

[未定稿]

新型コロナウイルス感染症関連の府民からの相談対応において、  
AIチャットボット\*導入などによる相談体制の充実強化を図る

📍コロナ関連相談におけるAIチャットボットの導入

事業規模：約900万円

現状



各種相談

FAQ

府民相談窓口  
コールセンター

新型コロナ受診  
相談センター



保健所

主な課題

- ①ピーク時の総相談件数563件/日
- ②ホームページ上のFAQの項目が増加しており、解決したい質問への到達に時間を要する

導入後



各種相談

R3年1月  
運用開始



FAQ

府民相談窓口  
コールセンター

新型コロナ受診  
相談センター

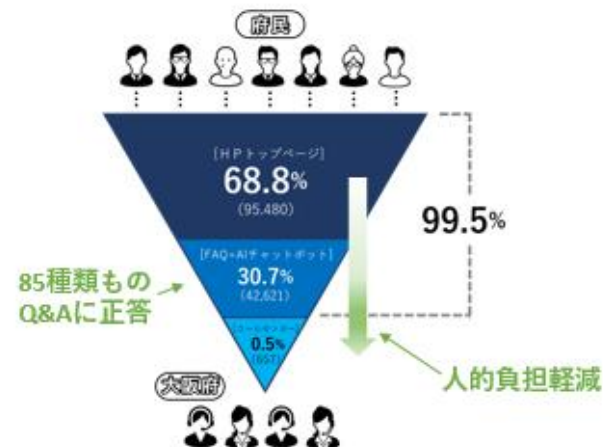


保健所

導入期待効果

- ①府民の利便性が向上  
⇒ 24時間対応、選択肢増
- ②簡易質問はAIチャットボットで完結  
⇒ 問い合わせの減少により保健所等の負担が軽減

コールセンター with  
AIチャットボット



## 4. ポストコロナ、そして万博へ

## 新型コロナに伴う大きな社会変化 ～リモートも含めた新しい生活様式～

### ウィズコロナ 〈パンデミック〉



### ポストコロナ 〈ニューノーマル〉

### テクノロジーの成長領域

#### 個人レベル の変化 【生活様式】

- 感染防止のための3密回避
- STAY HOME (外出自粛)
- リモート積極活用

1. 在宅消費の増加／移動手段の変化
2. 働き方多様化／リモートワーク
3. 健康への意識の高まり
4. 新たな娯楽の追及／孤独感の解消

- ① オンライン消費、シェアバイク、サブスク
- ② オンラインビジネス、リモートオフィス
- ③ e-スポーツ、遠隔医療、データヘルス
- ④ 動画技術、体感VR、SNS

#### 民間レベル の変化 【経済活動】

- 自粛休業／需要の蒸発
- 在宅勤務の推奨
- 不確実環境下での民間投資抑制

1. 事業のオンライン化
2. 働き方改革／在宅勤務
3. オフィス・サプライチェーンのリスク分散
4. 対人サービス業の再構築

- ① クラウド、セキュリティ、キャッシュレス
- ② Web会議、人事管理システム
- ③ シェアオフィス、物流IoT、産業ロボット
- ④ オンライン商談、デジタル認証、自動翻訳

#### 社会レベル の変化 【社会環境】

- 感染症拡大防止 (外出自粛・休業要請)
- 家族のあり方変化 (在宅勤務、子育て等)
- 経済との両立模索

1. 新しい生活様式の浸透
2. 健康／予防対策への投資増
3. 成長戦略の再構築 (脱インバウンド)
4. 東京(都心)一極集中の是正

- ① e-コマース、予約システム、遠隔教育
- ② 健康アプリ、リモート健康診断
- ③ リモート・エコミー、AI・IoT、センサー
- ④ サテライトオフィス、ギグワーカー

# 戦略ver2に向けたたたき台

戦略ver.2の方向性 「ウイルスとの共存」を前提に「リモート」を取り入れて  
「都市免疫力」「リモート・エコノミー」「チャレンジフィールド」

- ① オリジナルプロジェクト（戦略Ver.1）  
+  
② 都市免疫力の強化（理念）  
③ リモート・エコノミー（アクション）  
④ チャレンジフィールド・プロジェクト（横断）

1 ■ 『都市免疫力』のあるスマートシティ（迅速・可変・持続）

2 ■ 暮らし・人・仕事がつながる『リモート・エコノミー』

0 □ スマートモビリティ（AIオンデマンド交通・MaaS等）

0 □ データヘルス（健診データ・地域包括ケア等）

0 □ デジタル・テイメント（VR/AR・5G等）

0 □ データ基盤（オープンデータ・情報銀行・都市OS等）

0 □ 行政DX（デジタルガバメント・3レス・市町村ICT化）

3

■ チャレンジフィールド  
プロジェクト

<候補地>  
泉北NT など

ポストコロナ

オリジナルプロジェクト

## 大阪スマートシティ戦略／チャレンジフィールドプロジェクト コンセプトは「リモートで、繋がる・繋げる」 Connected City

be Connected … 繋がる、接続する、結びつく

“リモート”でつながる「便利な暮らし」、「安心な住まい」、「快適な仕事」

### 1. リモートで、暮らしがにつながる【便利な暮らし】

- 買い物 … オンラインショッピング
- 健康 … 遠隔医療・遠隔服薬
- 学び … オンライン学習
- 交通 … スマートモビリティ



- 高齢者の買い物支援や、駅から離れた住民のラストワンマイルを、リモートで解決
- 遠隔医療やオンライン学習など、テクノロジーを活かし、街の付加価値（利便性）を上げる

### 2. リモートで、人がつながる【安心な社会】

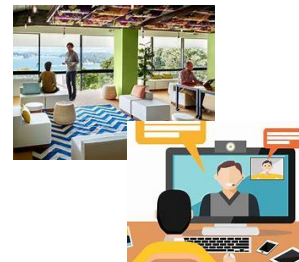
- 地域 … リモートコミュニティ
- 高齢者 … 見守りサービス、オンライン帰省
- 子育て … オンライン相談
- 友達 … オンライン飲み会



- 単身高齢者や子育てで悩む親を、手軽にアクセスできるオンライで支援。
- VR、5G、センサー技術などを活用しバーチャルで人と人とのつながりを実現

### 3. リモートで、仕事につながる【快適な仕事】

- 働き方 … リモートワーク
- オフィス … サテライトオフィス
- 営業 … オンライン商談
- 企業DX … 事業のデジタル化



- 郊外の緑に囲まれたスマート・サテライトオフィスで、職住近接のリモートワーク
- 通勤時間を短縮でき、他業種の方と交流しながら、クオリティの高い仕事が可能に

## **5. 公民共同**

**～大阪スマートシティパートナーズフォーラム～**

## 5. 公民共同

### ～大阪スマートシティパートナーズフォーラム～

# OSAKA SMART CITY PARTNERS FORUM

## 大阪スマートシティ パートナーズフォーラム 設立について

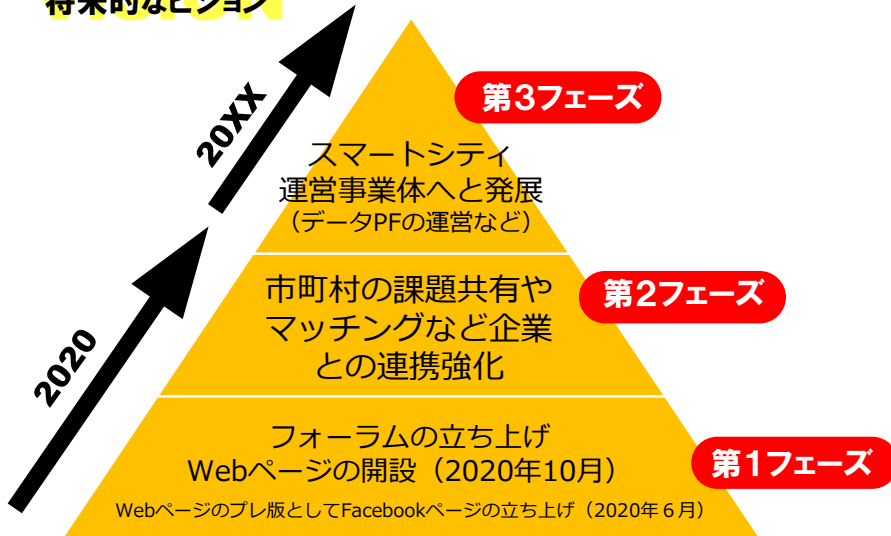
### MISSION

#### 活動内容

市町村の課題共有／先進事例の紹介／セミナー開催  
アイデアソン開催／企業×市町村・企業×企業のマッチング

### VISION

#### 将来的なビジョン



### ABOUT

#### 概要

“大阪モデル”のスマートシティの実現に向けた取組みの推進のため、企業やシビックテック、府内市町村等と連携した「大阪スマートシティパートナーズフォーラム」を令和2年8月に設立しました。

### MEMBERSHIP

#### 会員

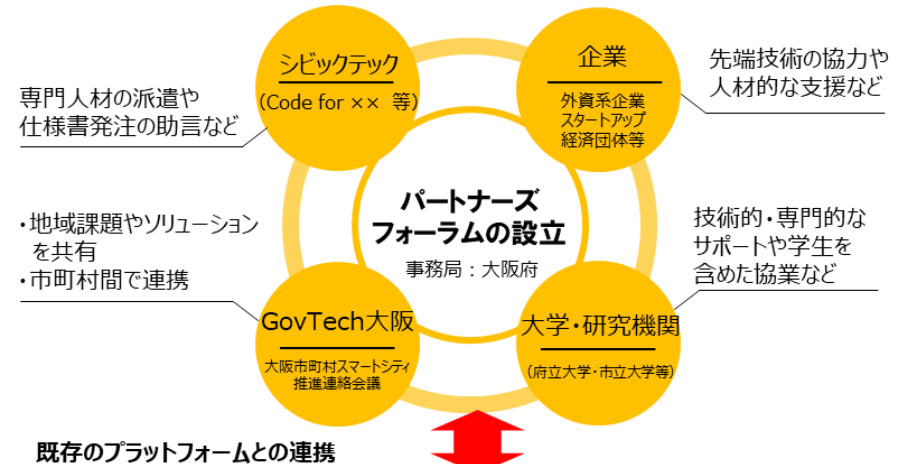
2020年9月28日現在

#### 310団体 (名)

内訳	法人会員	213団体	個人会員	10名
	賛助会員	84団体	特別賛助会員	3団体

### SYSTEM

#### 連携体制



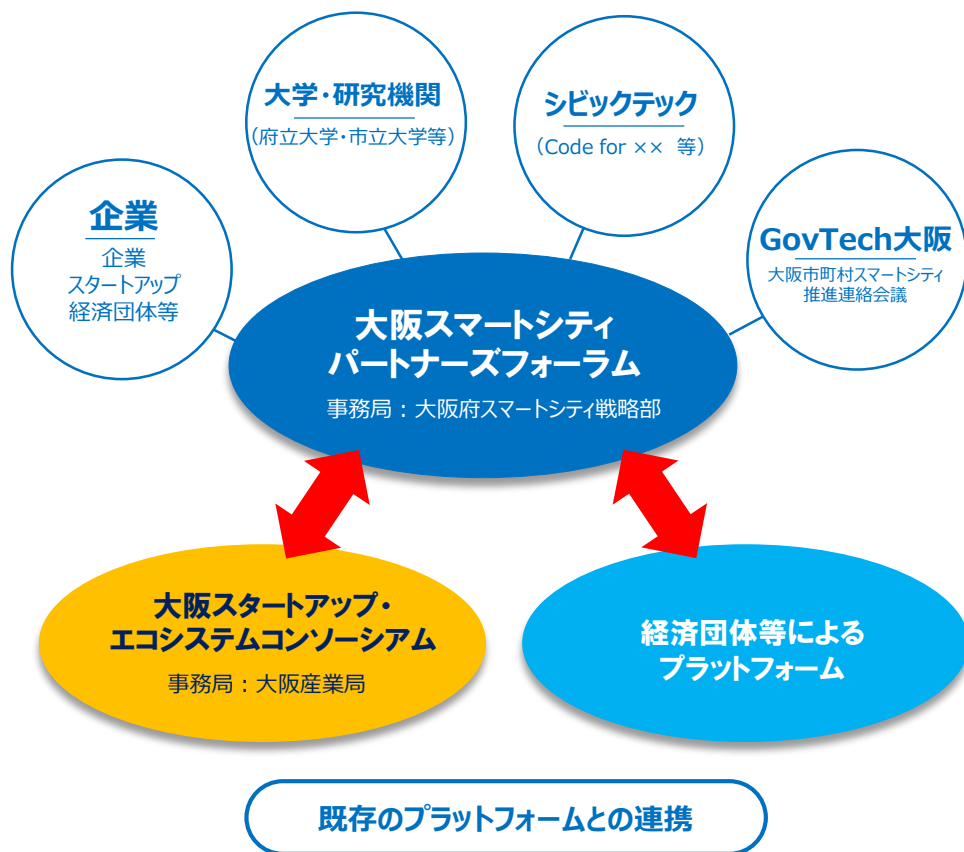
OIH、「大阪・関西IoT 活用推進フォーラム」「MaaS 社会実装推進フォーラム」(大商)など

## 5. 公民共同

### ～大阪スマートシティパートナーズフォーラム～

# System

## 連携体制



## 連携体制について

**本** フォーラムは、企業や経済団体、大学などの研究機関、シビックテックなどの民間団体、府内全市町村が参加するGovTech大阪等との連携により設立・運営を行います。運営に際しては、大阪府スマートシティ戦略部が事務局を担い、会員の幅広い意見を反映した柔軟な運営をおこないます。また、既存のコンソーシアムやプラットフォームとも積極的に連携し、大阪全体でスマートシティの取組みを推進します。



# Schedule

スケジュール

## 2020スケジュール

